

向陽中学校だより<第6号>



走れ向陽!

～夢の実現めざして～

<学校目標> 「知性」「品格」「至誠」「体力」を身につけた活力ある生徒
 <重点目標> 自己の目標達成のため、最後までやり通すことができる

平成28年7月1日(金)
 <発行者>校長 箭内仁史
 〒976-0037
 相馬市中野字桜町76
 TEL35-2348 Fax35-2849

熱戦向陽中学校PTA球技大会



先週26日(日)にPTA球技大会が盛大に開催され、バレーボールとソフトボールの熱戦が繰り広げられました。ソフトボールはここ数年、雨により中止となっていました。久しぶりに実施でき、お父さん方が張り切っているようすがたくさん見られ、乱打戦となりました。混成チームのバレーボールでは、どのチームも連携がとれ、アタックが決まるシーンがこちらもたくさん見られました。熱気溢れる試合となりました。試合結果は次の通りです。



<ソフトボール>優勝：日立木方部 第2位：中村方部 第3位：飯豊方部
 <バレーボール>優勝：飯豊方部 第2位：中村方部 第3位：日立木方部

情報モラル・ネット防犯教室～向陽中学校「携帯・スマホ宣言」作成に向けて～

今週29日(水)に、相馬警察署生活安全課に依頼して、情報モラル・ネット防犯教室を実施しました。スマホや携帯、通信のできるゲーム、パソコン等でインターネットを利用しているが、日常生活と変わらないものと考えたことの大切さについて、講話をいただきました。「インターネットに載せられるのは、玄関の前に貼れるものだけ」これは、友だちに送った写真や文字が別の友だちや知らない人、世界中に広まる危険性がある、まして、他の人が「おかしい、問題だ」と思うこと、人を傷つけることも含めて法律に反することであれば、インターネットの情報は過去のものを含めて一生残り、進学や入社を取り消しや、結婚の解消につながり、取り返しの付かない事態になる場合もあるとのこと。加害者であると同時に被害者にもなるということです。



結びに、インターネット先には人がいること、法律を守り、相手を思いやる気持ちを持つこと、モラルを持って社会の中で人生を豊かに生きていくことの大切さをお話ししていただきました。この講話の終了後に、生徒会役員によるネットトラブルの寸劇が行われ、これらネット上の問題に真剣に考え、向陽中学校の「携帯・スマホ宣言」を作り上げようと呼びかけました。帰りの会では、ネット上のトラブルを起こさないための、勉強の妨げにならないための使い方のルールについて一人ひとりが考えました。後日、これらの案を集約して生徒会で宣言文を作り上げ、来週のPTA例会で紹介する予定です。

なおPTAとしても、保護者として携帯・スマホの使い方についての宣言文をまとめあげるよう6校PTA(向陽中・山上小・八幡小・中一小・飯豊小・日立木小)でも決定しておりますので、作成時にはご協力のほどよろしくお願いします。

裏面もご覧ください

お知らせ

相馬市教育委員会の事業で、本校の昇降口玄関や体育館周辺など複数箇所に防犯上の理由で、常時録画する機能の防犯カメラが夏休み中に設置されます。設置にあたっては、相馬市の規定に基づき運用いたします。お知らせの看板も設置します。

5日(火)	県陸上大会(～7日)	17日(日)	県吹奏楽コンクール相双大会
7日(木)	3年実力テスト	19日(火)	1, 2年実力テスト
8日(金)	授業参観、PTA例会	20日(水)	1学期終業式 ※弁当
11日(月)	3年薬物乱用防止教室	21日(木)	夏季休業(～8/24)
12日(火)	放射線出前講座、吹奏楽部壮行会 少年の主張相馬大会	22日(金)	県中体連総合大会(～24日)
		8/1(月)	3年三者面談(～5日)

7月の学校経営の重点

(6月20日の職員会議で示した一部です。)

〔7月〕学校経営の重点

～1学期のまとめしっかりと～

7月の学校生活目標「1学期の反省と夏休みの計画」

「1学期の生活を振り返り、有意義な夏休みの計画を立てる。」

☆指導の重点<1学期の反省に基づいた夏休みの計画、事故の防止『いじめアンケート』の実施>(校外での生活、夏休みの計画の作成、夏に起こりがちな事故 3年:体験入学事前指導、学習指導)※生徒一人ひとりに応じた事前の指導を徹底する。

1 1学期にしなければならないことをしっかりとまとめる。

(1) 1学期の学習内容の確実な定着を

- 朝の10分間読書、基本的学習習慣を確立する。現職教育に基づいた授業の充実を図る。
- 1学期に理解したり、覚えたりする学習内容は確実に身に付けさせる。
- 宿題や自主学習による家庭学習の習慣を付けさせる。(60分→90分→120分)

※1学期予定の教育課程の完全実施を

(2) 学習以外の諸活動のまとめと反省を

- 生徒一人一人に「1学期の目標やめあて」達成・実現の取り組みを
- 生徒会・委員会活動、係り活動などでしっかりとした反省を
- 部活動をまとめ、成果と課題を明確にしながら、しっかりとした引き継ぎを

2 適正・適切な評価・評定を

◎ 生徒一人一人の実態や取り組みを確実に把握し、適正・適切に評価する。

- 「分かったこと、できたこと」を賞賛し、成就感を実感させる。更に、夏休みや2学期に「やろうとする」意欲を持たせるようにする。
- 授業や自分の学習を振り返る場、自己評価する場を設定し、課題解決に取り組めるような助言や指導をする。
- それらを通して、教師の指導に対する自己評価も併せて行う。

3 一人一人を大切に生徒指導、いじめ・不登校〇をめざした向陽中の取り組みを

(1) 相双中体連大会終了

※ 成果と課題を明らかにしながら、次の目標・課題へ気持ちを切り替えさせる。

→ 今後の学校生活や行事への切り替え。(夏休み中の各種大会、体験入学、各種コンクール、新人大会、文化祭・・・)

- 3年生としての切り替え。 ○ 1、2年生としての切り替え。

※ 意欲的に取り組めない生徒

→ 意義づけや目的、行事の意味、今後の見通しなどを話して、何をすべきかを考えさせ、意欲を持たせて取り組ませる。

(2) いじめの調査と活用

(3) 必要に応じて個別に指導、必要に応じて各学級→各学年(学年集会)→全校生(全校集会)で指導。

→善悪の判断をしっかりとつけさせる。正しい判断と行動のできる生徒を育てる。

4 事故のない充実した夏休みにする事前指導の徹底を

7、8月 夏休みのキーワード:「夏に鍛える」

(1) 夏休みの心構えをしっかりと持たせ、規則正しい生活と家庭学習を実現させる。

- 一人一人に「夏休みの目標やめあて」を持たせ、計画作りをしっかりとさせる。
- 目標やめあて達成に向け、計画に基づく着実な取り組みをさせる。
- 学年に応じて、事故防止や安全指導の徹底を図る。(川、プール、部活動)

(2) 夏休み中の学習や課題への取り組みを通して、表現力の育成

(作文・論文、書写、絵やポスターなど各種コンクールへの作品製作と出品)

(3) 事前指導が十分だったかどうかの評価は、夏休み

終了時点ではっきりする。

- 事件や事故に遭わない夏休みにするためには?
(・ネット上での誹謗・中傷、歩行中の事故→警察に連絡を)
- 健康で規則正しい生活ができる夏休みにするためには?
- 課題や宿題をきちんと終わらせ学習面でも充実した夏休みにするためには?
- それらを達成するためには、目標設定や具体的な計画はどうか?
☆特に全校挙げて3年生に対する学習指導及び生徒指導の充実をお願いします。

・教室の開放

(4) 夏季休業中も特別に配慮の必要な生徒への細やかな対応をお願いします。

- 部活等での声かけ、電話連絡、はがきや手紙での励まし、教育相談、家庭訪問等

(5) 事故・事件が発生した時の対応(緊急時対応マニュアル)を再確認してください。

- 即校長、教頭、警察に連絡を! ○連絡網の確認

5 本格的な進路指導の取り組みを

◎ 3年生の進路実現に向けた様々な取り組みの本格的な開始を。

- 高校体験入学、進路・進学情報の収集、夏季休業中の学力向上の取り組み。
- 進路や学習に関する三者面談の実施等

6 保護者・家庭との一層の連携・協力を

◎ 1学期の内容を、まとめて → 伝えて → お願いする。(PTA例会、三者懇談、学年・学級だより)

- 一人一人について1学期の学習や生活の様子についてしっかりとまとめる。
- 夏休み並びに2学期の生活や家庭学習で、具体的な協力・支援をお願いします。